

第7回大阪城弓道場杯弓道大会

10月7日 大阪城弓道場において第8回大阪城杯弓道大会が開催されました。参加者187名でした。

【成績結果】

男子の部

平野雅一(茨木) 竹島昌典(万博)
 里山良光(交野) 中澤悠樹(高槻)
 佐藤誠一(茨木) 石橋吉春(加支多)
 船津卓三(茨木) 山下 諒(大ガス)
 吉山伸二(枚方) 植野 稔(堺)

女子の部

樹下恵子(万博) 北川浩子(豊中)
 小林雅代(八尾) 矢間明美(朝日)
 小林師子(高津) 坂口美沙(朝日)
 吉田真佐美(八尾) 小松正美(朝日)
 新谷幸子(岸和田) 木戸淑恵(朝日)

敢闘賞

村山道明(交野)・中谷雅彦(真和)
 山田美代子(豊中)・西田みゆき(枚方)



男女優勝～3位入賞の各選手

オータムチャレンジ・スポーツ弓道体験会

10月8日(祝)、各地でスポーツ体験会が開催され、今年は豊中市をお訪ねしました。昨年は、大阪城をお訪ねしましたが雰囲気随分と違っていました。豊中市は『生涯スポーツ』をスローガンに掲げておられて子供から高齢者の方まで人数制限はあるものの、何方でも自由に参加できる方法がとられ、今年はおよそ300名の方が参加されました。(昨年は市長も参加されたそうです。)



順番を待つ参加者



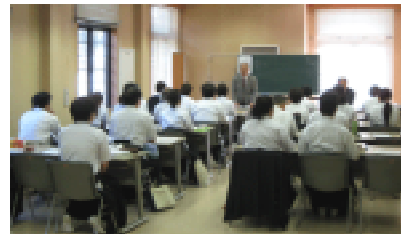
的中して驚いた女の子

(写真提供：豊中市弓道協会)

平成24年度・スポーツ指導員養成講習会

10月13日、主催・公益財団法人 大阪体育協会・公益財団法人 全日本弓道連盟による、スポーツ指導員養成講習会の開講式が行われ、41時間に渉る講習会がスタートしました。当該講習会は平成20年度に開始され、今年で5年目になります。昨年までの受講生は延べ134名になりましたが、転勤・居住地登録などがあって実質大阪府連では100名程となっています。他府県に比べて十分な資格者を擁しているわけではありません。

今後、若い方の参加を期待します。



スポーツ指導員養成講習会開講式

第36回近畿地域弓道大会

10月14日滋賀県立武道館弓道場に於いて『平成24年度・第36回近畿地域弓道大会』が開催されました。今年も好天に恵まれて参加者470名程の選手が参集しました。大阪府連のチームは残念ながら団体戦での入賞は逃がしましたが、個人戦では優勝を飾り男女共に優秀な成績でした。結果は次の通りでした。

男子団体の部

兵庫E 兵庫T 滋賀N

女子団体の部

京都府A 奈良K 滋賀J

男子個人の部

大阪E(竹島昌典・万博) 兵庫E

大阪K(馬淵信幸・岸和田)

兵庫N 京都府M

女子個人の部

奈良E 奈良K 京都府A

大阪B(森脇靖子・吹田)



個人優勝及び入賞の各選手

大阪府連 級～四段講習会

10月21日大阪府連の講習会が岸和田・住吉・八尾の会場に別れて行われました。各会場共に熱心な講師の先生方のご指導の下、受講生も真剣に耳を傾け。熱の入った一日でした。「二～三段」の会場となった住吉では閉会にあたり小松英次先生が次のように挨拶されました。

『今日、学んだ事は、各自稽古を重ねて下さい。稽古の稽の字は「よみがえる」という意味があります。学んだ事をよみがえらせることをして下さい。必ず良い結果が出るでしょう』



岸和田会場の稽古風景

(写真：塚本正雄)

全日本弓道遠的選手権大会 3位入賞

10月26日～28日に行われました『全日本弓道遠的選手権大会』に於いて山田直美先生が3位に入賞されました。おめでとうございます。

**中央審査受審にあたって**

中央審査受審にあたって、次のことに十分注意して下さい。

**全日本弓道連盟の徽章以外は
着しない**

『大阪府連の受審者は全弓連以外の徽章を着している人が多い、何処の団体の徽章なのか？』中央審査の審査委員から注意がありました。

大阪府弓道連盟の歩み

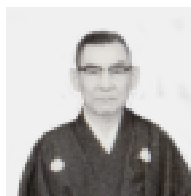
前回、7月号までは「大阪府弓道連盟」の創立から住吉大社の「全国弓道大会」開催までの数年間をご紹介しました。

昭和46年、大阪府連の新しい人達に古い時代のことが知られていないので何とかそれを伝えたいと言う気持ちから古い先生方の聞き書きを作る事になりました。

今月号からは『聞き書き』を掲載したいと思います。これは牧野徳一先生(岸和田弓友会)がまとめられた物です。

牧野徳一先生
(岸和田弓友会)

聞き手・牧野徳一
語り・勢川末吉
テーマ・「世話係」
聞き取り・昭和46年6月20日

勢川末吉先生
(高津弓友会)

昭和6年、私は体を悪くして、ぶらぶらしていましたが、勤めてくれる人があって、滋賀県堅田にある東洋紡績に入りましたが、そこに弓道場がありました。上司先輩は「胃腸が悪いなら、弓が良いだろう」といわれましたので、入りましたが、始は矢追いばかりでした。私はこの弓で体が救われたという気持ちがあって、私の弓道生活は主としての張りや道場の世話係りでした。

工場をまわって、17～18年になりますと、戦争で、会社の設備は安東に持って行ったので、私は岩国に転勤しました。その時試験を受けたのですがそれは戦争で流れてしまいました。その後また滋賀県に戻り、昭和26年には広島国体に滋賀県代表で出場しました。同年済寧館に試験を受けに行き、その時五段をもらいました。

昭和27年大阪の団地があたって、28年には尾崎道場の世話になりました。初めクラブ員は10人位でしたが、急に20人位に増えました。

(以下次号につづく)